

おおだて 市立総合病院・市立扇田病院

# 病院だより

第17号

おおだて病院だよりは、  
市民・患者さんと  
市立総合病院・市立扇田病院を  
つなぐ広報誌です

2015.12

No.17

発行者：大館市病院事業管理者 佐々木睦男  
編集：大館市立総合病院 広報委員会  
住所：大館市豊町3-1(総合)  
大館市比内町扇田字本道端7-1(扇田)  
電話：0186-42-5370(総合) 0186-55-1255(扇田)  
URL：<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>(総合)  
<http://www.oogita-hp.jp>(扇田)



市立総合病院  
院長

たて 館 ひろし 博

団塊の世代が75歳を迎える平成37年  
に向かつて、高齢者が増えることによ  
る医療費の増加が懸念されており(近年  
増加傾向にあり、平成26年度では40兆  
円を初めて超えました)、様々な国策が  
なされて来ております。その中でも特  
に急性期病床(今すぐに治療が必要な  
患者さんに専門的な医療を提供する病  
床)を減らし、回復期病床(急性期を過  
ぎた患者さんを受け入れる病床)への移  
行を進めようとしています。

このような動きの下で昨年4月、地域  
包括ケア病棟の施設基準が創設され、  
設置が推奨されています。この病棟で  
は、急性期治療を終え、症状が安定し  
た患者さんに対して、在宅や介護施設  
への復帰支援に向け、病棟専従の理学  
療法士等の配置による、より積極的な  
支援を行います。当院も来年度を目標  
に、地域包括ケア病棟設置を目指し、  
現在検討中です。実際に運用が始まら  
ば転棟が必要となる患者さんもありま  
すが、その際は主治医が判断し、患者  
さんご家族に提案し、ご了承を得て  
からとなります。当院に、地域包括ケア  
病棟を定着させる為には、市民の皆様  
のご理解とご協力がぜひとも必要です。  
何卒この趣旨をご理解いただきますよ  
う、よろしくお願ひ致します。



市立扇田病院  
院長

お お も と な お き 大 本 直 樹

医療は今、大きな転換点を迎えてい  
ます。2025年問題」という言葉  
を最近よく耳にすると思います。いわ  
ゆる団塊の世代が後期高齢者となり、  
急速に超高齢化、人口減少が進行する  
ことよって起こる様々な社会問題の  
ことを示します。その中でも医療をは  
じめとする社会保障制度の構築が最も  
大きな課題であり、将来必要な病床数、  
病床機能について話し合う調整会議が  
当地域でもスタートしました。

更に平成29年からは医師の新専門医  
制度がスタートします。各学会の意見  
調整が難航し、いまだに混沌とした状  
況ですが、若い医師の卒後教育(キャ  
リアパス)が根本から見直され、私た  
ちの地域医療にも大きな影響を及ぼす  
ことが予想されています。  
現代の社会生活に必要な三大要素は  
「医・食・住」と言われております。  
福原市長からは着任早々に「地域包括  
ケアシステムのモデルとなりうる病院  
として扇田病院を期待しています」と  
いうありがたい激励の言葉をいただき  
ました。地域のみならずが安心して暮  
らせる医療環境を提供し続けるため、  
職員一丸となって取り組み続けてまい  
りますので、市民の皆様のご理解とご  
支援をお願いいたします。

## 総合病院 新任医師紹介



整形外科

あぶらかわこう たろう

油川広太郎 先生

精一杯頑張ります。よろしくお  
願ひします。



泌尿器科

とくい のりこ

得居 範子 先生

頑張ります。よろしくお願ひし  
ます。



泌尿器科

まつもと てっぺい

松本 哲平 先生

一生懸命頑張ります。よろしく  
お願ひします。



耳鼻咽喉科

はな た きよし

花田 巨志 先生

県北の医療に貢献できるように  
がんばります。



呼吸器・循環器内科

よねくら まなぶ

米倉 学 先生

よろしくお願ひします。



内分泌・代謝・神経内科

すぎやま あや

杉山 綾 先生

地域の皆様のお役にたてるよう  
に頑張りたいと思います。よろしく  
お願ひ致します。



整形外科

おおいし かずき

大石 和生 先生

整形外科チームの一員として、少  
しでも皆さんのお力になれるよう  
にがんばります。

# 紹介 します

## 放射線科



放射線科ではCT、MRI、核医学などの画像診断・動脈塞栓術などを行う血管内治療及び放射線治療を行っています。

多くの患者さんにとって放射線科の画像診断はなじみのない診療分野ではありますが、各科の先生からの依頼でCT、MRI等の画像上の異常や変化を診断してそれをお知らせしたり、血管内治療と呼ばれる、血管内にカテーテルという細い管を入れて閉塞させ、腫瘍（がん）を“兵糧攻め”にして退縮させてしまう、などの治療を行っています。

また放射線治療は、体外から放射線を腫瘍（がん）に照射して退縮させることを目的とした治療です。近年、放射線を精密に照射する方法が普及して、腫瘍周囲組織の放射線障害を減らすことができるようになり、腫瘍に対する治療法としてより広く選択されるようになってきています。

これまで非常勤医が対応してきましたが平成27年5月より放射線診断医1名が常勤となり、画像診断や血管内治療に関する相談をいつでも受けられるようになりました。なお、放射線治療は非常勤の放射線治療医が担当しております。皆様のご期待に添えるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

（放射線科 部長 篠原 敦）

## 入院患者さんへの 面会の制限について

現在インフルエンザやノロウイルスの流行期に入っています。当院では入院中の患者さんへの感染拡大を防ぐため、流行期が終息するまでの間、面会を制限させていただいています。

面会は原則ご家族を中心とし、マスクの着用をお願いします。また、小さいお子さん（小児科受診年齢相当）や発熱（37℃以上）、せき、のどの痛み、鼻水、吐き気、嘔吐、下痢等の症状があり体調不良のかた、所属する学校や職場、家庭内でインフルエンザやノロウイルスが流行しているかたは、面会をご遠慮していただくようご協力をお願いします。



## 看護師奨学生を 募集しています

市立病院（総合病院、扇田病院）では、平成28年1月29日（金）まで、平成28年度看護師奨学生を募集しています。看護師を養成する学校等に入学予定または在学中で、卒業後に市立病院へ勤務する意思を有するかたが募集の対象となります。

詳しくは総合病院ホームページをご覧ください。総合病院総務課までお問い合わせください。



☎総合病院 総務課 0186-42-5370

総合病院ホームページ

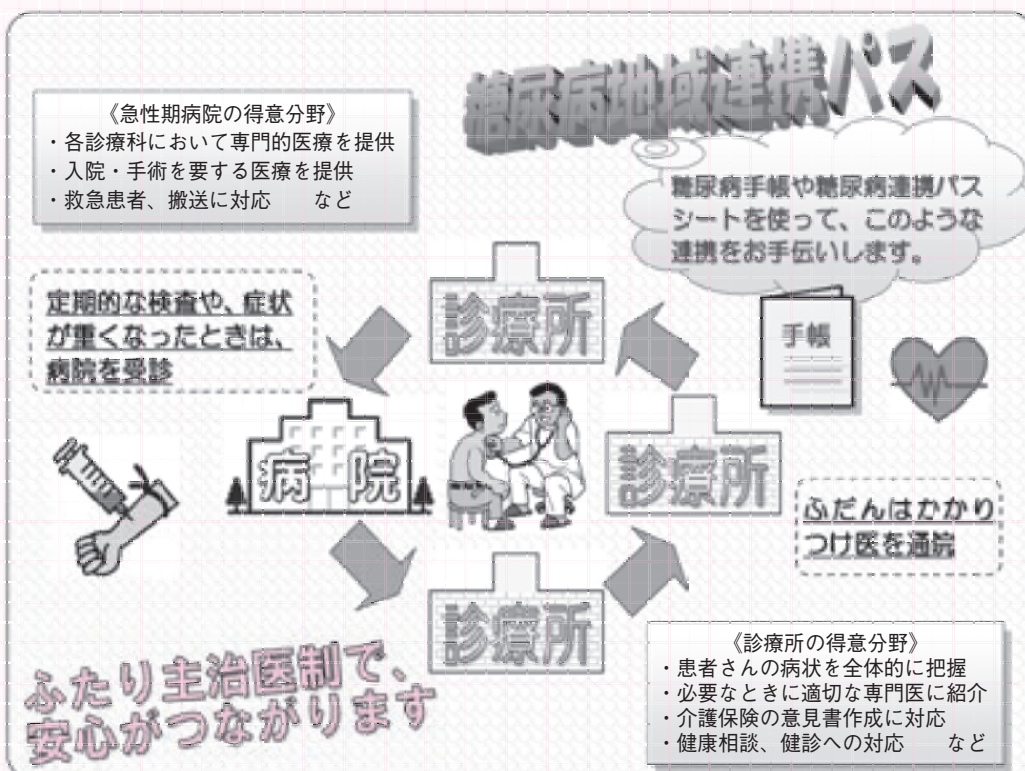
<http://www.odate-hp.odate.akita.jp>

# 糖尿病地域連携パスを紹介します

皆さんもご存じのとおり、高齢者の増加や生活習慣の変化から、糖尿病患者は増加の一途をたどっています。それに対して糖尿病専門医数は不十分で、当地区も例外ではありません。そんな中、平成26年度診療報酬改定では当院のような拠点病院は入院・専門外来を中心とし、一方診療所では介護と連携した外来・訪問診療を担うとともに主治医機能の強化が重要とされました。そこで大館、北秋田、鹿角の診療所と連携して取り組んでいるのが糖尿病地域連携パスです。当院と診療所の医師が協力して診療する『2人主治医制』を取り入れた循環型連携パスを採用しています。

具体的には、半年(～1年)に1度当院の専門外来を受診し、血糖コントロールと合併症の評価、治療方針の確認を行います。特に異常がなければ次回の専門外来までは診療所に通院し、定期的な検査や処方を受けていただきます。また、かかりつけ医としてかぜなどの一般的な内科診療もお願いしています。基本的には血糖コントロールが安定し、合併症進行がない患者さんを対象としますが、症状の悪化などによる入院・精密検査が必要なケースでは当院で対応します。

参加患者数は運用開始(平成26年2月)から今年の10月までに250名を超え、ご協力いただき感謝いたします。この糖尿病地域連携パスが当地区の糖尿病診療の向上に繋がるよう一層努力してまいりますので、ご協力よろしくお願いいたします。



(内分泌・代謝・神経内科 部長 池島 進)

お薬のいろんな疑問にお答えします。



## くすりのかたち その③

前号に引き続き、薬の形についてお伝えします。

### ●軟膏／クリーム

皮膚に直接塗って使います。ぬり薬は主薬(効果のもとになる成分)が、主薬の取り込みを補助する基剤(ベースとなる成分)に混ぜ合わせてあります。軟膏は主に油脂性(油に溶ける性質)のワセリンを基剤に使用しています。クリームは水と油を混ぜて乳化した基剤を用いたものです。

### ●ローション

皮膚(頭皮を含む)または爪に塗布する液状の薬です。軟膏やクリームが塗りにくい部分への使用に適しています。

### ●吸入剤

粉末や液状の薬を霧状にして噴出させ、口や鼻から吸い込むものです。薬を直接、肺や気管支、鼻の粘膜などに行きわたらせることができます。飲み薬と違い局所で作用するため、全身的な副作用が少ないことが特徴です。ただし、吸入方法を正しく行わないと十分な効果を得ることができません。

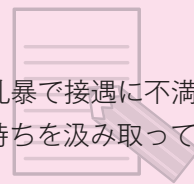
このほかにも点鼻薬、点耳薬、点眼薬や眼軟膏など薬には様々な種類があります。薬の効果を十分に発揮するため、用法用量を守り適切に使用するようにしましょう。

## 「患者さんの声」より

当院に寄せられたご意見を紹介していきます。

### 医師の言葉遣いが乱暴に感じます。

混雑している中、診察していただいていることには感謝していますが、医師の言葉遣いが乱暴で接遇に不満を感じることがあります。お互いに気持ちよくいられるように、診察時の対応には患者の気持ちを汲み取って欲しいです。(4月に投函されたかたのご意見)

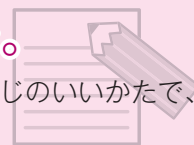


#### 病院から

ご指摘ありがとうございます。このたびは医師の言動により不愉快な思いをさせましたこと、大変申し訳なくお詫びいたします。医師は患者さんへ病状や治療方針を適切に伝えるよう努めていますが、言葉足らずで説明が不十分だったと思われます。ご指摘のあったことを真摯に受け止め、「患者さんの身になった対応」を心がけていきたいと思っております。また、医療安全や接遇など、病院スタッフへの教育訓練を徹底し改善に努めてまいります。

### 放射線技師の対応がよく、不安なく検査を受けられました。

マンモグラフィの女性の技師のかたが、とても丁寧で優しく不安なく検査ができました。感じのいいかたで、とてもよかったです。(9月に投函されたかたのご意見)

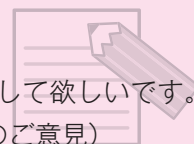


#### 病院から

心温まるご意見ありがとうございます。おそらく乳がん検診でのご印象と思われます。現在乳がんは女性に増えてきているがんの一つですが、早期発見すれば完治できる可能性の高いがんのひとつでもあります。そのため当院では、検診を受け易くするように女性技師を配置し、接遇と技術の向上に努めてきました。今後も患者さんの立場に立ち、よりよい治療を提供できるよう改善してまいります。

### 会計待ち時の椅子を増やして欲しいです。

混雑時に会計を待っていると、椅子が足りず立って待っている人もいますので、椅子を増やして欲しいです。体調的につらい時に、立って待たせるのはいかななものでしょうか。(5月に投函されたかたのご意見)



#### 病院から

ご指摘ありがとうございます。当院では、限られた空間を快適な環境にするよう椅子の配置を替えたり、車椅子をご利用される患者さんにも配慮した空間作りを行うよう適時努めています。今後も、椅子を増やせるよう配置を工夫する等検討いたしますが、体調がすぐれないときは、お近くの窓口・職員にご相談くださるようお願いいたします。

### 食事がとてもおいしいです。

入院患者ですが、食事がとてもおいしいです。(7月に投函されたかたのご意見)



#### 病院から

「食事がとてもおいしい」と言っていただき、ありがとうございます。栄養科職員は、患者のみなさんに満足していただける食事を提供するために、日々頑張っておりますので、「おいしい」という言葉はわたしたちにとって励みになります。現在では年に4回嗜好調査を実施していますが、患者さんの意見を取り入れ、不満と思われるところは改善するなど、より一層喜んでいただける食事になるよう今後とも努力してまいります。

# 扇田病院です!

## 一般病棟

一般病棟(2階・3階)には“内科・外科”の患者さんが入院し、循環器・呼吸器・消化器・外科など幅広い疾患に対応しています。安全な環境で治療を受け、安心して療養できるように医師・看護

師・看護補助者の他、薬剤師・管理栄養士・理学療法士・メディカルソーシャルワーカーも病棟内で活動しています。小規模病院ならではの職員間の連携を大切にしながら、患者さんやご家族と話し合い、地域との連携も大切にした関わりを心掛けています。



当病棟では「安全で思いやりのある看護の提供」を目標に掲げ、自宅への退院前には生活上の注意事項や経管栄養・喀痰吸引・オムツ交換などの実技的な指導も行っています。

また、今年度は病棟として認知症に特に力を入れて学習会を行っており、疾患や対応方法を積極的に学び実践しています。不安や疑問があればどうぞお気軽にスタッフにご相談下さい。

## 感染症予防対策研修会を開催しました (院内ラウンド実務研修会)

10月13日に、大館保健所が主催する感染症対策研修会が当院で開催されました。周辺医療機関から約40名が参加し、集団発生の予防対策や、実際に発生した際の拡大及び重症化防止のための早期対応方法などについての研修を行いました。

総合病院より高橋義博医師(感染制御室室長)と若松主子看護師(感染管理認定看護師)を招き「院内感染対策に関する基礎知識、院内ラウンドの実際」についての講話を受けたあと、グループに分かれて院内を回り実務に関する研修を行いました。

地域の担当者が一堂に会し感染対策の重要性を共有できたことで、今後の連携体制づくりにつながる意義のある研修会となりました。



# 外来診療のご案内

医師の都合や手術などのため、休診や受付時間を変更する場合があります。

～総合病院～

<b>受付時間</b>	<b>初診</b> 午前 8:30～11:00	<b>再来</b> 午前 7:30～11:00
-------------	-------------------------	-------------------------

特段の記載がない場合は、上記の受付時間になります。

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
呼吸器・循環器内科	新患	9:30まで	呼吸器 休診 循環器 9:30まで	呼吸器 新患 9:30まで 再来 11:00まで 循環器 休診	呼吸器 休診 循環器 新患 休診 再来 11:00まで	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
消化器・血液・腫瘍内科							新患は原則として紹介状が必要です。
内分泌・代謝 神経内科	新患	10:30まで	甲状腺 10:30まで	10:30まで	甲状腺 10:00まで	10:00まで	新患は原則として紹介状が必要です。 神経内科の受付は再来のみとなっています。
	再来						
小児科							
神経精神科	新患	10:00まで					他院の通院歴がある場合は紹介状が必要です。
	再来						
外科							
呼吸器外科	新患	予約のみ	10:00受付	予約のみ	予約のみ	10:00受付	
	再来						
産婦人科							
眼科	新患	9:30まで	9:30まで	9:30まで	休診	9:30まで	新患は原則として紹介状が必要です。
	再来				9:30まで		
耳鼻咽喉科							
整形外科		10:00まで(火曜日は再来のみ)					新患は原則として紹介状が必要です。 専門外来は予約制。
泌尿器科		予約のみ					新患は原則として紹介状が必要です。
皮膚科				休診	再来予約のみ		木は再来予約のみの受付となります。
脳神経外科	新患	10:30まで					新患は原則として紹介状が必要です。
	再来						
放射線科		予約のみ	予約のみ	予約のみ		予約のみ	新患は木のみで紹介状が必要です。
歯科口腔外科・矯正歯科							再来は予約制。

上記の表は11月中旬の情報をもとに作成していますが、診療体制の変更に伴い受付時間などが変更となる場合がありますのであらかじめご了承願います。また、変更があった場合はホームページへ掲載いたしますのでそちらをご覧ください。

- ◎新患はできるだけ紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いしています。
- ◎この表における紹介状とは、医療機関から発行される診療情報提供書のことを指します。
- ◎新患の患者さんで紹介状を持参されない場合、初診時の保険外併用療養費として、1,620円を負担していただいておりますのでご了承ください。

～扇田病院～

科名	曜日	月	火	水	木	金	備考
内科・外科	午前	8:30～11:00					
	午後	急患のみ					
	夕やけ(午後)	5:00～6:30	休診	5:00～6:30	休診	5:00～6:30	
整形外科	午前	休診	休診	休診	休診	8:30～11:00	
耳鼻咽喉科	午後	1:30～3:00	休診	休診	休診	休診	
眼科		午前10:00～12:00、午後1:00～2:00 ※原則第1,第3土曜日					詳細は扇田病院ホームページまたは電話でご確認ください

## 扇田病院からのお知らせ

### ●専門ドックを紹介します

#### ◎簡易脳ドック

MR I・MR A撮影や血圧脈波検査を行います。  
無症候・未発症の脳及び脳血管疾患の発見と動脈硬化が気になるかたにおすすめです。

**健診費用** 21,600円(税込)

#### ◎肺がんCT健診

がん死亡原因の1位である肺がんの早期発見に有効です。**健診費用** 7,560円(税込)

※どちらも予約制です。詳しい内容については下記までお問い合わせください。

➔扇田病院 健診担当 ☎0186-55-1255

# 食事と⑧ 病気予防

## ベジファースト

ベジ(ベジタブル)ファーストとは、「食事の時に野菜から食べ始めること」を指します。糖質の多いご飯から食べると、血糖値が急上昇してしまいますが、野菜から食べると、食物繊維の効果で血糖値の上昇は緩やかになります。いつもご飯から食べ始める人は、食べる順番を変えてみましょう。



## 血糖値の急上昇を防ぐ食事のポイント

### ①食物繊維が豊富な野菜やきのこ・海藻類をしっかり食べる

ゆっくりよく噛んで食べると、満腹中枢を刺激し、満足度が上がります。早食い防止にもなります。

### ②味噌汁や温かいスープなどを摂る

食物繊維の次に汁物を摂ると、食物繊維が水分でふくらみ、より高い満足感が得られ、食べ過ぎを抑えることができます。

### ③最後に糖質の多いご飯やパンを食べる

食物繊維を先に摂取することで、後から入る糖質や脂質の吸収を抑えることができます。野菜の摂取量が増えて、ご飯やパンの摂取量を抑え、栄養バランスが整いやすくなります。

## 根菜カレー

早食いになりやすいカレーライスも、具材に根菜を入れて、よく噛んで食べましょう。カレーとサラダの組み合わせの場合、サラダを食べた後から、カレーライスを食べましょう。



サラダを食べた後から、カレーライスを食べましょう。

材料(2人分) ※1皿/エネルギー 550kcal 食物繊維 5.6g

ご飯	180g×2	れんこん	150g	生姜	1/2かけ
豚挽き肉	50g	エリンギ	100g	塩・こしょう	少々
人参	40g	カレー	2かけ	サラダ油	小さじ2
				しょうゆ	小さじ1

### 作り方

- ①人参、れんこんは厚めの銀杏切り、エリンギは長さを2〜3等分に切ってから縦に薄切り、生姜はすりおろします。
- ②鍋にサラダ油を中火で熱し、豚挽き肉をほぐしながら炒める。肉の色が変わったら、人参、れんこん、エリンギを加えて炒める。
- ③塩、こしょうをふり、水300mlを入れ、しょうゆを入れて混ぜる。沸騰したら、アクを取り除く。
- ④ふたをして弱火にし、10分程度煮る。れんこんに火が通ったら、カレーと生姜を加え、とろみがつくまで混ぜながら炒める。

## 感染対策研修会を開催しました

9月29日に、弘前大学医学部附属病院感染制御センターの萱場広之教授を招き、感染対策研修会を開催しました。

「最近話題のウイルスと感染制御」をテーマとして、ウイルスの構造や、近年話題となったエボラ出血熱やデング熱などについてご講演いただきました。当日は約400人の職員が参加し、およそ1時間の講演に耳を傾けていました。



## 編集後記

今年もうじき終わりですね。皆さんインフルエンザ対策は万全でしょうか？予防接種も大切ですが、注射をしても風邪を引かなくなるわけではありません。外出先から戻った際には、手洗い、うがいを心がけましょう。また、路面凍結に伴う転倒にも十分ご注意ください。

さて、今号も10月から新しく加わった新任医師の紹介、地域連携バスの取り組みなど、読み応えのある内容となっております。また、今号の表紙は、大館の素敵な夜景を採用させていただいております。編集員、原稿を載せて下さった方々をはじめ、皆で大切に作った病院だより第17号をご一読いただければ幸いです。最後に、皆様が健康で、素晴らしい新年を迎えられることを心よりお祈り申し上げます。(編集委員長 田辺 壽太郎)